

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 実施日 2021年5月24日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

| 項目コード | 検査項目 JLACTO | 検体量 (mL) | 容器 | 保存 (安定性) | 所要 日数 | 実施料 判断料 | 検査 方法 | 基準値 (単位) | 備考 |
|--------|---|-------------|------------------------|-------------|----------|------------|----------|-------------|----|
| 8737 8 | 抗ミュラー管ホルモン (AMH) [CLEIA] 4F100-0000-023-052 | 血清 0.5 | S09 ↓ A00 (X) | 冷蔵 (21日) | 2~4 | | CLEIA | 裏面参照 | &E |

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

| 項目コード | 項目名 | 受託中止日 |
|--------|------------------|-------------------------------|
| 6584 2 | 抗ミュラー管ホルモン (AMH) | 2021年 9月 30日 (木) ご依頼分をもって受託中止 |



● 抗ミュラー管ホルモン (AMH) [CLEIA]

抗ミュラー管ホルモン (AMH) は、女性において卵巣の前胞状卵胞および小胞状卵胞の顆粒膜細胞から分泌され、卵胞のリクルートメントと発育を調節している。生後および思春期前までは血中AMH濃度は低く、思春期を迎えると上昇し始め20~25歳をピークに上昇を続ける。その後、加齢に伴い徐々に減少し、閉経を迎える頃には検出されなくなる。

血中AMH濃度は前胞状卵胞と小胞状卵胞の数を反映するといわれていることから、卵巣予備能の直接的な指標とされている。

▼疾患との関連

多嚢胞性卵巣症候群

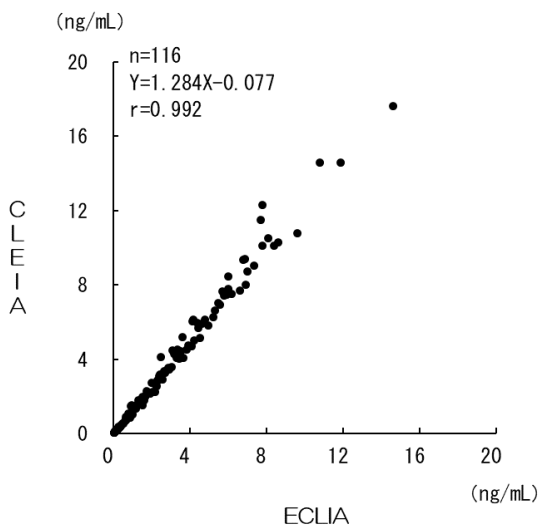
▼関連する主な検査項目

卵胞刺激ホルモン (FSH)
 黄体形成ホルモン (LH) / プロラクチン
 エストラジオール (E₂) / プロゲステロン

▼検査要項

| | |
|-----------|------------------------------|
| 検査項目名 | 抗ミュラー管ホルモン (AMH) [CLEIA] |
| 項目コード | 87378 |
| 検体量 | 血清 0.5 mL |
| 容器 | S09→A00 (X) ポリスピッツ |
| 保存方法 | 冷蔵保存してください |
| 所要日数 | 2~4 日 |
| 検査方法 | CLEIA |
| 基準値 | 下記参照 |
| 報告範囲 (単位) | 0.03未満、0.03~99900000 (ng/mL) |
| 桁数 | 有効3桁、整数8桁、小数2桁 |
| 検査実施料 | |
| 判断料 | |
| 備考 | &3 |

▼相関



▼ [87378] 抗ミュラー管ホルモン (AMH) [CLEIA] 基準値 (単位: ng/mL)

| | | |
|----|--------|-----------|
| 女性 | 22~25歳 | 0.28~8.01 |
| | 26~30歳 | 0.29~12.2 |
| | 31~35歳 | 0.07~10.0 |
| | 36~40歳 | 9.23以下 |
| | 41~45歳 | 4.48以下 |

●参考文献

浅田 義正, 他: 医学と薬学 76 (10) : 1527~1532, 2019. (検査方法参考文献)
 浅田 義正: 臨床婦人科産科 66 (7) : 526~531, 2012. (臨床的意義参考文献)